

## 第 61 回 2022 JPC 開催要領

1. 名 称 第 61 回 2022 年 ジャパンパッケージングコンペティション  
(2022 JAPAN PACKAGING COMPETITION)  
—2022 JPC—
2. 開催趣旨 2022 JPC (ジャパンパッケージングコンペティション) は、商品化され販売されたパッケージの優秀性を競うもので、今回で第 61 回を迎える長い歴史があります。  
近年、パッケージデザインには、使いやすさなど従来の機能に加えて、安心・安全、環境への配慮など多様な要求がなされており、社会的責任も増大しています。パッケージデザインは、こうした状況を乗り越え、豊かな暮らしを実現する新しい開発、提案が求められています。  
2022 JPC は、商品化されたパッケージを広く募集し、それらを総合的・多角的に評価して、優秀作品を顕彰します。また、受賞作品を公開展示し、情報提供することで、今後のパッケージデザイン開発に寄与し、もって社会に貢献したいと考えています。
3. 主 催 一般社団法人日本印刷産業連合会
4. 後 援 経済産業省、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、公益社団法人日本包装技術協会、公益社団法人日本マーケティング協会、一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会、一般社団法人日本百貨店協会  
(以上、予定)
5. 協 賛 平和紙業株式会社 (予定)
6. 事務局 木村企画  
〒115-0042 東京都北区志茂 2-27-7 フラット YK3-101 号室  
TEL : 090-1113-6045 メール : jpc2022@jfpj.or.jp
7. 応募規定 2020 年 1 月 1 日より 2021 年 12 月 31 日までの 2 年間に商品化され、市販された商品パッケージ (業務用を含む) および POP (パッケージとして一体化してデザインされたもの)。

※当コンペティションに未応募の作品

8. 審査部門      ▽洋菓子、▽和菓子、▽洋食品、▽和食品、▽中華・エスニック食品、▽健康食品（ビタミン剤類は除く）、▽アルコール飲料、▽一般飲料、▽衣料品、▽薬品、▽化粧品、▽化粧雑貨、▽一般雑貨、▽電気機器、▽贈答用品、▽POP、▽包装紙・ショッピングバッグ、▽地域産業商品、▽リニューアル商品（新旧両方提出）、▽ペット用品、▽外国人向け商品、▽ベビー用品――の計 22 部門
9. 出品料      審査・展示料として、▽「単品商品」1 点 14,300 円（同一ブランドで形、色違い 2 点まで単品扱い可）、▽「ファミリー商品」同 16,500 円（同一ブランドで形、色違い 3 点以上）、▽「POP 部門」、「包装紙・ショッピングバッグ部門」は同 17,600 円。（金額はいずれも税込み）
10. 申込方法      一般社団法人日本印刷産業連合会のホームページより、所定の申し込みフォーム（「出品申込書」）をダウンロード（<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=5213>）して必要事項を入力し、出品作品の簡単なスナップ写真とともに（「出品申込書」フォーム内に貼り付け可能。貼り付けが難しい場合はファイル添付でも可。「リニューアル商品」部門は新旧とも撮影）、2022 年 1 月 25 日（火）までに、JPC2022 受付メール（[jpc2022@jfpi.or.jp](mailto:jpc2022@jfpi.or.jp)）へご送信ください。  
また、お申し込みと同時に、所定の出品料をお振り込みください。  
■振込先口座＝木村企画 宛（JPC2022 事務局を担当）  
▽三菱 UFJ 銀行赤羽支店 普通 0 3 8 6 9 4 5  
▽口座名義＝キムラキカク キムラ トモユキ
11. 募集期間      2021 年 11 月 8 日(月)～2022 年 1 月 25 日(火)
12. 作品の審査会場への搬入日時・搬入場所  
2022 年 1 月 31 日(月)・2 月 1 日(火) 午前 10 時～午後 5 時  
日本印刷会館 2 階展示室  
〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8  
TEL 03-3551-5011  
※郵送の場合は必ず、日付・時間を指定（1 月 31・2 月 1 日の両日、午前 10 時より午後 4 時 30 分）してください。  
※「リニューアル商品部門」は新旧作品両方を提出してください。  
※出品作品は全作品展示のため返却いたしません。

13. 審査場所 同上

14. 審査日時 2022年2月2日(水) 午前10時～午後5時

15. 審査員(順不同・敬称略、予定)

▽加藤 芳夫(愛知県立芸術大学客員教授)、▽松崎 笙子(女子美術大学名誉教授)、▽伊藤 透(公益社団法人日本パッケージデザイン協会 理事長)、▽越野 滋夫(公益社団法人日本包装技術協会 専務理事)、▽竹原 聖人(公益社団法人日本マーケティング協会 研究開発局次長)、▽宮久 哲実(一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会 専務理事)、▽福岡 直子(大日本印刷株式会社 包装事業部 イノベティブ・パッケージセンター 企画本部 プランニング第2部 部長)、▽吉原 直和(凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 マーケティング戦略本部 商品企画部 部長)、▽春日井 良枝(共同印刷株式会社 生活・産業資材事業本部 企画開発部 部長)

▽オブザーバー＝経済産業省担当官

16. 賞の内容および性格(申請中)

☆経済産業大臣賞(2点)

パッケージとして総合的に最も優れており、社会的・経済的に最も価値があるもの(下記観点で、「1部門」、「2部門」各1点)。

▽1部門＝保護、機能、構造、デザイン等、市場性に最も優れているもの。

▽2部門＝安全性、リサイクル性、環境対応等が特に配慮され、最も優れているもの。

☆経済産業省製造産業局長賞(2点)

パッケージとして、保護、機能、構造に配慮され、包装の簡易化、資材の軽量化、デザイン表示等、包装の適正化に優れているもの。

☆経済産業省商務情報政策局長賞(3点)

商品情報の的確なアピールとメッセージ性があり、商品企画およびパッケージ形態等がユニークで優れているもの。

☆公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞(1点)

デザイン的に、特に優れているもの。

☆公益社団法人日本包装技術協会賞（1点）

包装技術の面で、特に優れているもの。

☆公益社団法人日本マーケティング協会賞（1点）

マーケティング上の観点で、特に優れているもの。

☆一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会賞（1点）

パッケージの機能を満たし、しかも POP 効果が特に優れているもの。

☆一般社団法人日本百貨店協会賞（1点）

贈答品の観点から、特に優れているもの。

☆一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞（5点）

印刷加工上、特に優れているもの。

☆部門賞（各部門原則2点）

各部門の中で、総合的に高水準にあり、賞として推奨に値すると判断されるもの。

▽洋菓子、▽和菓子、▽洋食品、▽和食品、▽中華・エスニック食品、▽健康食品（ビタミン剤類は除く）、▽アルコール飲料、▽一般飲料、▽衣料品、▽薬品、▽化粧品、▽化粧雑貨、▽一般雑貨、▽電気機器、▽贈答用品、▽POP、▽包装紙・ショッピングバッグ、▽地域産業商品、▽リニューアル商品、▽ペット用品、▽外国人向け商品、▽ベビー用品—の計22部門

☆奨励賞（若干）

以上の賞以外で優れているもので、奨励賞に値するもの。

17. 入賞発表 正式発表は日印産連 HP 上で行います。入賞者には発表前に通知します。

18. 授賞式 如水会館：東京都千代田区一ツ橋 2-1-1 を軸に検討中  
2022年4月を軸に検討中（情勢により中止する場合があります）

19. 展示会 東京会場：日本印刷会館展示場を軸に検討中  
2022年5月11日(水)～13日(金)を軸に検討中

大阪会場：平和紙業株式会社（ペーパーボイス大阪）を軸に検討中

2022年5月を軸に検討中

※上記以外の展示会等でも展示する場合があります。

※情勢により中止する場合があります。

※出品作品は全作品展示のため返却いたしません。

※応募作品は当展展示会等で展示公開され、また、公式作品集やホームページなどに掲載・記録される場合がありますが、その際の著作権は目的限定で主催者に帰属します。

## 20. 事故防止・公衆衛生対策

授賞式等の開催にあたっては、使用会場の防災対策マニュアル等に則り、安全な開催に努めるとともに、非常時にはこれらに従い対応を講じます。また、安全・衛生管理については、会場側と主催者側で連携し、責任をもって対応いたします。

## < 審査基準 >

- A) パッケージとしての市場性が優れていること。
- a) 商品価値が高揚されていること。
  - b) 市場の訴求性が優れていること。
  - c) 印刷加工が優れていること。
  - d) 内容物についての情報が的確に表示されていてメッセージ性があること。
- B) パッケージとしての機能・構造が優れていること。
- a) 内容品を完全に保護していること。
  - b) 使用性が優れていること。
  - c) 素材の選び方が適正、かつ有効であること。
  - d) 包装コストのパフォーマンスに優れていること。
  - e) 製品構造および製造工程に新規性があり優れていること。
  - f) 輸送・保管の利便性が優れていること。
- C) パッケージとしての総合調和があり独創性を持ったデザインであること。
- a) 美的で品位があること。
  - b) 内装と外装が調和していること。
  - c) 模倣性のないこと。
- D) パッケージとしての社会性が配慮されていること。
- a) 安全性が配慮されていること。
  - b) 適正包装がなされていること。
  - c) リサイクル、リユース、廃棄などの後処理など、環境に配慮されていること。
  - d) 流通、売り場、売り方への適応性に優れていること。
  - e) ユニバーサルデザインに配慮されていること。
  - f) 倫理性があること。

## <賞の内容>

### ☆経済産業大臣賞（2点）

パッケージとして総合的に優れており、社会的・経済的に最も価値があると判断されるもの。下記視点で、1部門、2部門各1点。

▽1部門=保護、機能、構造、デザイン等、市場性に最も優れているもの。

▽2部門=安全性、リサイクル性、環境対応等が特に配慮され、最も優れているもの。

### ☆経済産業省製造産業局長賞（2点）

パッケージとして、保護、機能、構造に配慮され、包装の簡易化、資材の軽量化、デザイン表示等、包装の適正化に優れているもの。

### ☆経済産業省商務情報政策局長賞（3点）

商品情報の的確なアピールとメッセージ性があり、商品企画およびパッケージ形態等がユニークで優れているもの。

### ☆公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞（1点）

デザインの的に、特に優れているもの。

### ☆公益社団法人日本包装技術協会賞（1点）

包装技術の面で、特に優れているもの。

### ☆公益社団法人日本マーケティング協会賞（1点）

マーケティングの観点で、特に優れているもの。

### ☆一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会賞（1点）

パッケージの機能を満たし、しかもPOP効果が特に優れているもの。

### ☆一般社団法人日本百貨店協会賞（1点）

贈答品の観点から、特に優れているもの。

### ☆一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞（5点）

印刷加工上、特に優れているもの。

### ☆部門賞（各部門原則2点）

各部門の中で、総合的に高水準にあり、賞として推奨に値すると判断されるもの。

▽洋菓子、▽和菓子、▽洋食品、▽和食品、▽中華・エスニック食品、▽健康食品（ビタミン剤類は除く）、▽アルコール飲料、▽一般飲料、▽衣料品、▽薬品、▽化粧品、▽化粧品雑貨、▽一般雑貨、▽電気機器、▽贈答用品、▽POP、▽包装紙・ショッピングバッグ、▽地域産業商品、▽リニューアル商品、▽ペット用品、▽外国人向け商品、▽ベビー用品—の計22部門

### ☆奨励賞（若干）

以上の賞以外で優れているもので、奨励賞に値するもの。